

憧れの白衣で看護体験

和歌山病院で高校生10人



看護師の仕事を見学する高校生ら

看護師を目指す高校生を
対象とした「ふれあい看護
体験」が27日、美浜町の和
歌山病院で開かれた。日高
と和歌山信愛の10人が患者
との交流を通じて看護の仕
事への理解を深め、将来へ
のイメージを膨らませた。
看護師になるためのプロ
セスや看護の仕事内容など

学んだあと、3グループに分かれて看護を体験した。憧れの白衣を身に着け、看護師と一緒に病棟をめぐり、血圧測定や検温の様子や入浴、洗髪などの様子を見学。ナースコールやストレッチャーなど器具の使い方や学び、患者に笑顔で話しかけ交流した。看護師と一緒に患者の体勢を仰向けから横向きの状態に変えるなど仕事を手伝ったり、足浴なども体験した。

日高高校3年の藤木美歩さんは「足洗いで患者さんと

うまくコミュニケーションをとることができた。ますます看護師になりたいくなった」、同校3年の川涼風さんは「コミュニケーションをとるのが難しいが、うまくとれた時とてもうれしかった。とてもやりがいのある仕事だと思っ」と話し、和歌山信愛の奥野真世さんは「身近に体験することができてとてもいい経験になった。ベッドのシーツ交換がうまくできた」と笑顔を見せた。